☆☆☆ 産業界に輝く企業 ☆☆☆

金属被膜研究所

環境対応で新技術

金属被膜研究所（東京都品川区）は機械、食品、医療などさまざまな分野で使われる樹脂部品や金属部品のメッキ処理を手がけている。今田悠社長は「時代の変化に対応し、環境に優しいクロムフリーメッキなどの新技術に挑戦してきた」と胸を張る。

メッキ槽の管理、治具の開発などのノウハウを蓄積。2000年からこの標準化に取り組んでいる。メッキした製品をデジタルカメラで撮影し、メッキ方法を共有化。経験が乏しい若手社員でも高品質に処理できるようにした。

中堅社員として活躍する片寄賢司生産課課長代理（写真左）は「今まで教わったことに自分のアイデアを加えて技術を磨いている」と意気込む。

入社3年目の石井元志さん（同右）は「1年目の終わりごろから達成感がわいてきた。難しい表面処理にも挑戦したい」と目を輝かせる。新技術の開発に欠かせない人材も育ちつつある。

上島熱処理工業所

高度な熱処理技術

汗だくになりながら、真っ赤になった金属製品を引き揚げる作業者

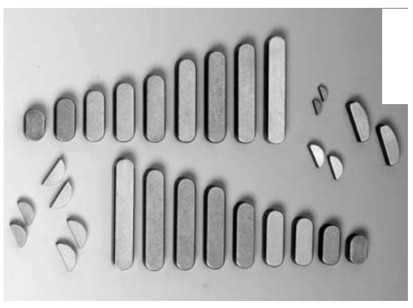
上島熱処理工業所（東京都大田区）は金属製品の熱処理を手がけている。3－5月期の受注は前年同期比5％増と堅調だ。企業や大学などとの共同研究にも取り組んでおり、上島秀美社長は「高度な熱処理技術が評価されて受注が増えてきた」と笑顔をみせる。

溶融した塩の浴槽（ソルトバス）で熱処理する。塩はマグマのように赤く、従業員は汗だくだ。最終工程である熱処理は取引先の製造スケジュールの調整弁になることも多く、短納期を要求される。このため納期が迫ったロットを知らせる独自の生産管理システムを活用し、優先的に処理する作業を把握している。

人材育成にも力を入れている。熱処理の際には温度や時間などの細かいノウハウが必要。上島社長は「最高レベルの熟練を要する技能についてそれぞれに自信を持って対応できる従業員を必ず2人以上置くように心がけ、顧客の要望に応えている」と強調する。

セイキ製作所

マシンキーで首位



マシンキーはシャフトの動力をギアに伝えるために不可欠な部品

セイキ製作所（東京都町田市）は1966年の設立から48年間、歯車とシャフトの間にかませて動力を伝える機械要素部品であるマシンキーの専業メーカー。日本工業規格（JIS）に定められた1万アイテムを用意しており、500社以上に供給している。市場シェア約4割と首位を占める。

顧客はホームページで在庫と納期を確認できる。稲山正人社長は「この『WEB在庫照会』は2012年にサービスを開始した。専業メーカーならではの強みだ」と胸を張る。

マシンキー開発で培った研磨技術と多品種少量生産技術を生かし、歯車などの小型機械部品も手がける計画。小型部品はマシンキーと同様、町田市の事業所から宅配便で全国に配送する。稲山社長は「多品種少量ニーズに対応する。全国配送する上で、東京は地の利がいい。これからも東京だからこそできるモノづくりを進める」と意気込んでいる。

坂口電熱

先端産業を熱で支える

坂口電熱（東京都千代田区）は、産業用のヒーターや温度センサー、温度調節器などを手がけている。顧客は半導体や自動車、宇宙、化学、医療など多岐にわたり、信頼も厚い。

オーダーメードから量産品、小型から大型まで顧客の要望に応じた製品を提供している。営業活動、秋葉原本店での対面販売、国内外の展示会で顧客の声を収集し、R&Dセンター（千葉県佐倉市）での製品開発に反映している。R&Dセンターでは加熱、測定、制御などさまざまな電熱技術を駆使し、製品の熱シミュレーションや性能評価も実施している。欧州特定有害物質規制（RoHS）などに適合した製品も開発、生産している。

電熱技術で産業に貢献してきた坂口電熱。環境分野にもさらに注力していく。空気や水の浄化工程などにヒーターを採用するケースが増えている。きれいな地球環境にするため、挑戦は続く。

見本市などでニーズ収集し顧客に密着した製品づくりを心がけている

富士フィルター工業

顧客ニーズ具体化

焼結積層金属フィルターの製品群

富士フィルター工業（東京都中央区）は「ものの流れるところには必ずフィルターが必要になる。宇宙から海底まで！」を掲げ、1966年の設立から48年間、世界中のさまざまな産業や分野の顧客のニーズに応じた工業用フィルターを提供してきた。金属の多孔質体の特性を生かし、フィルターとしての用途にとどまらず、清流効果、消音、流動床、発泡、熱交換、吸引などの用途でも使用されている。

日本が誇る世界最先端のモノづくり技術と細やかな匠の技のコラボレーションが、次世代の新市場や産業をグローバルで創造することが期待されている。こうした中、「出来ない理由より出来る工夫を」をモットーに、豊富な実績と技術で、あらゆる産業の顧客のアイディア、ニーズの具体化を目指している。世界をワクワクさせる仕掛け人の一人として、環境に優しい技術、高品質の製品、新たな用途の開発に取り組んでいる。

日本レーザー

バイオ分野に期待

日本レーザー（東京都新宿区）は、1968年設立のレーザー専門商社の草分けだ。固体レーザー、ガスレーザー、半導体レーザーをはじめ、レーザー光測定機器、レーザー描画装置などの関連製品を世界各地から輸入し、日本市場に投入。モノづくりや理化学研究の現場の高度化を提案している。

戦略商品の一つが独PicoQuant製のピコ秒パルスダイオードレーザー「LDH－D－TA－560＝写真」だ。パルス幅80ピコ秒（ピコは1兆分の1）で、波長560ナノメートル（ナノは10億分の1）の黄色レーザーを発振する。多様な時間分解計測に対応。オプションでファイバー結合できる。蛍光たんぱく質や蛍光色素の励起に適しており、バイオ分析や生化学、材料科学の分野での採用を見込む。価格は282万円（消費税抜き）から。山田昭正常務は「バイオ分野のレーザー需要の伸びに対応する」と意気込んでいる。

ワッティー

自社ブランドを拡大

ヒーター製品を組み上げる様子

ワッティー（東京都品川区）は、センサーとヒーターを扱うメーカーで、ヒーターは半導体製造装置メーカー向け製品を得意とする。加熱・保温技術が強みで、単体部品だけでなく、ヒーターを組み込んだユニット製品を製造している。

相模原事業所内にクラス100のクリーンルームを設置し、ホコリを嫌う半導体業界の厳しい要求に応えている。またX線撮影機や3次元測定器などの設備を充実させて徹底した検査体制を整備し、顧客の満足度を高めている。

6月にアルミナや酸化チタンなどを原子1個分の単位で基板の表面につけられる「ALD（原子層堆積）成膜装置」を発売した。結城二郎取締役は「これまではユニットレベルの製品を作っていたが、もう一段階上の装置まで自社で作った。こうした自社ブランドを増やしたい。これらの取り組みを通じ、医療機器や航空・宇宙などの成長分野も開拓したい」としている。

リブコンエンジニアリング

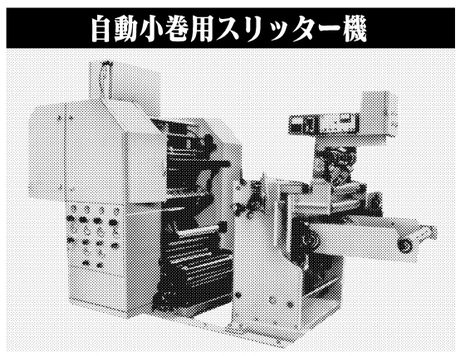
生きたコンクリートを

SECコンクリートは、桟橋やトンネルなどインフラの建設に欠かせない

生きたコンクリートを提供する―。石川島建材工業グループのリブコンエンジニアリング（東京都千代田区）の社名にある「リブコン（Livecon）」に込められている存在意義だ。「SECコンクリート」でゼネコンをはじめとする建設業界から高い支持を得ている。青函トンネル工事の採用後、数百以上の施工事例を誇る。SECとは「コンクリートの骨材である砂をセメントでくるむ」との略称。砂や砂利の表面の水分量を調整した上でセメントを加えて一次練りした後、二次水を加えて練り混ぜる。従来の練混ぜ方法に比べてセメントだまができないため、コンクリートの強度などの品質が安定する。

高圧空気を用いず、発生粉じん量を10分の1にした「エアレス」吹き付け機も販売している。作業環境が改善し、換気設備の省力化も図れる。研究開発や試験業務により、コンクリートの可能性を追求している。

自動小巻用スリッター機

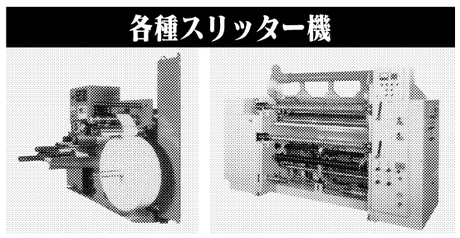


軸自動搬入 → 自動巻付 → 自動巻取
巻尻自動カット → 軸自動搬出

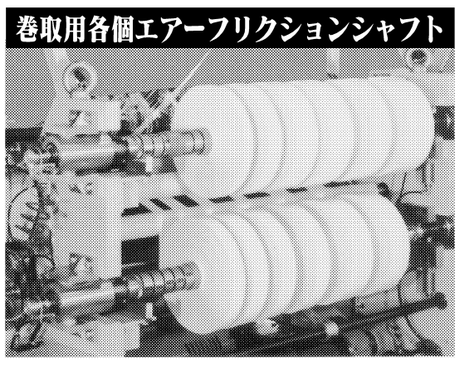
コア／輪切　自動カッター機

品質管理、省力化、高精度

各種スリッター機



巻取用各個エアーフリクションシャフト



●各種機械の据付･改造も責任を持って行っております。
●中古スリッター機等の取扱い
※機械･電気設計の下請業者求む！

その他取り扱い製品

◆カッター機械
◆小型コーター、小型ラミネーター機
◆テンションコントローラー、EPC装置
◆フィルム、紙加工機
◆エアーシャフト
◆制御操作盤
◆各種設計･製作

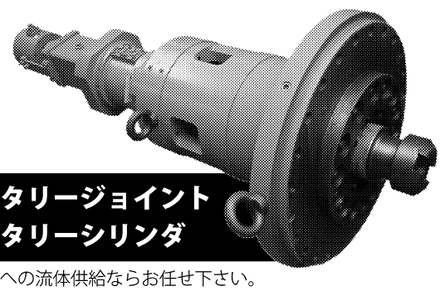
アフターサービスも万全!!

弊社協力会社

関東圏：機械協力会社3社　電気協力会社2社
関西圏：機械協力会社2社　電気協力会社2社

有限会社トイザキ物産　〒350-1133　埼玉県川越市砂984-23
TEL:049-245-0061　FAX:049-245-0064

NAMBU HYDRAULIC CYLINDERS



ロータリージョイント
ロータリーシリンダ

回転体への流体供給ならお任せ下さい。
製鉄・重工業、試験装置向けなど豊富な納入実績。

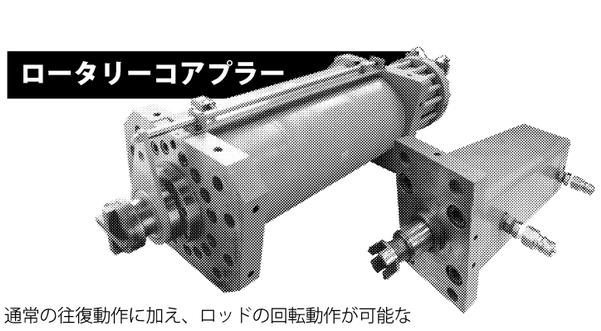
キャストビュワー

各種センサーからの情報をタブレット端末に表示し、シリンダーの動きを見える化します。

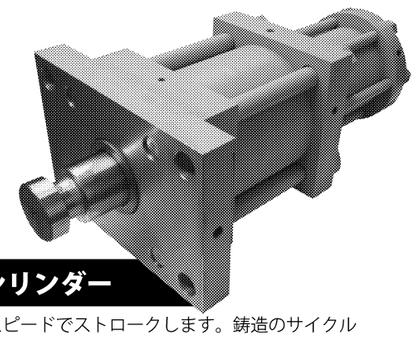
信頼と付加価値で
設備の安定稼働に貢献します

経済産業省グローバルニッチトップ企業100選に選定されました。

ロータリーコアプラー



通常の往復動作に加え、ロッドの回転動作が可能な油圧シリンダーです。



QSシリンダー

2段階のスピードでストロークします。鋳造のサイクルタイムを短縮し消費エネルギー削減に寄与します。

特殊油圧シリンダー設計・製作・販売
株式会社 南武
本社　〒144-0047 東京都大田区萩中 3-14-18
TEL 03(3742)7377　FAX 03(3745)1021
E-mail eigyo@nambu-cyl.co.jp
URL http://www.nambu-cyl.co.jp
海外拠点　タイ・中国・アメリカ
ISO9001:2008 ISO14001:2004 認証取得